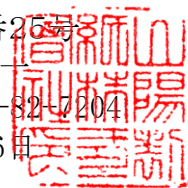


製品安全データシート(SDS)

SPQ-207-D12-01

会社 山陽製紙株式会社
住所 大阪府泉南市男里六丁目4番25号
担当部門 工場管理部 担当者 竹下浩一
電話番号 0724-82-7201 FAX番号 0724-82-7204
作成 令和6年2月26日



製品名 : GXP10(糸入りクレープ紙)

組成及び成分情報

主原料 : クラフト故紙、PE糸
化学名 : 紙(セルロース繊維集合体)
構造式 : $(C_6H_{10}O_5)_n$
使用薬品 : サイズ剤、紙力剤、定着剤、染料※1
CAS No. : 09002-88-4(ポリエチレン)
PRTR法 : 該当せず
IATA規制 : 該当せず

(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に基づく第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質)

(※1) 直接染料(段ボールや色画用紙などで使用される染料)を使用の為、日光・温度変化には強いですが使用環境・保管状態によっては退色や色が薄くなる場合があります。

材料の危険性及び環境への影響 : 特になし

応急措置

目に入った場合 : 流水で洗眼し、痛みが残る場合は眼科医の手当てを受ける。
皮膚についた場合 : 問題ないが、洗浄するのが好ましい。
飲み込んだ場合 : 少量であれば問題ないが、異常が認められる場合、医師の診断を受ける。

取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意 : 紙のスリッター面(断面)を触ると、まれに裂傷をおこす事がある為、なるべく保護手袋等を着用する。
: 手カギ厳禁。
保管上の注意 : 高温多湿場所及び直射日光を避けて保管する。
: 横積み厳禁。

輸送上の注意 :破損、荷崩れの防止を確実に行う

火災時の処置

消火方法 : 周囲の設備等に散水して冷却する。
: 消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。
: 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火剤 : 初期の火災には、水、消火器等を使用する。

漏洩時の処置方法 : 特になし

廃棄方法 : 法、条例に従い廃棄処分
: 故紙としてリサイクル可能

適用法令 : 適用法令なし

物理的及び化学的性質

外 観 : 茶色味のあるロール紙
臭 い : 特になし
溶解性 : 水に対して溶解、但しPE糸は未解
その他 : 情報なし

暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない
保護具 : 手袋着用が望ましい

安定性及び反応性 : 通常取り扱い条件下では安定である

その他

クレープ紙燃焼時による
ダイオキシン発生の場合 : クレープ紙製造工程において、ダイオキシンの発生源となる有機塩素系の薬剤及び原料は、一切使用致しておりませんが、塩素系を含有するものと同時に燃焼させた場合は、発生する可能性も否定できません。

空輸/配送 : 揮発性/引火性/可燃性/放射性/酸化性などの薬品物質は使用しておりません。
又、含有物質内に紙の繊維としての原料配合物などに磁性物質も含まれておりません。

危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

- ・可燃性固体 :指定可燃物
 - ・自己反応性化学品及び混合物 :分類対象外
 - ・自然発火性固体 :分類対象外
 - ・自己発熱性化学品及び混合物 :分類対象外
 - ・酸化性固体 :分類できない
 - ・金属腐食性物質 :分類対象外
-

健康に対する有害性

- ・急性毒性 :分類できない
 - ・皮膚腐食性・刺激性 :分類できない
 - ・眼に対する損傷性/眼刺激性 :分類できない
 - ・呼吸器感作性又は皮膚感作性 :分類できない
 - ・生殖細胞変異原性 :分類できない
 - ・発ガン性 :分類できない
 - ・生殖毒性 :分類できない
 - ・特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) :分類できない
 - ・特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) :分類できない
 - ・吸引性呼吸器有害性 :分類できない
-

環境に対する有害性

- ・水生環境有害性 :分類できない

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外

ラベル要素

- 絵表示又はシンボル :非該当
 - 注意喚起語 :非該当
 - 危険有害性情報 :非該当
 - 注意書き :応急処置、取扱い及び保管上の注意、廃棄方法を参照
-